

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

大津みやび野ホーム居宅介護支援事業所

令和6年度 事業計画

目 標	困りごとに対して、寄り添いながら課題を分析し、課題解決に向けた提案が円滑に行えるなどアセスメント力の向上に努めていくことで、利用者や家族の自宅生活への想いを尊重した居宅サービス計画書の作成を図る。
理 由	利用者が自宅など生活したい場所で、利用者自身が選択した方法で、その人らしく生活できるケアマネジメントに取り組むため。 利用者や家族が住み慣れた地域で安心した生活が送れるように利用者個々の課題に対して、解決策を丁寧に一緒に検討していける支援者であり続けたいため。 利用者や家族に対して、地震など自然災害時にも冷静かつ迅速に対応できる業務継続計画を策定したため、手順や方法を見直していくことで、災害時にも支援の継続を図りたいため。
具体的対応策	1. 事業所のアセスメント様式を見直すとともに可視化した事例検討を繰り返し行い、アセスメント力の向上に努める。 2. 各職員がモチベーション向上を目的とした研修に参加し、知識と技術を習得する。 3. 地震等自然災害時にも冷静かつ迅速に対応できるように机上訓練に取り組む。医療依存度の高い利用者や独居生活の利用者など確認優先度の高い利用者について事業所内での共有を図る。

令和6年度 事業報告

事業報告	事業所内、外の研修に積極的に参加する意識をもち全職員が自己研鑽に取り組むことができた。事業所内、外の事例検討に繰り返し参加することで多面的なアセスメントからの気づきを取得することができ、ケアマネジメントの向上につながっている。 困難事例や気になるケースについては毎日の朝礼での経過報告や週1回の会議にて職員間で情報の共有を図り、担当者1人が抱え込まない体制をつくり、対応した。課題の明確化や対応方法などを検討し、対応にあたり、必要に応じて、地域包括支援センターや病院と協力したことで、援助技術の向上を図ることができた。 BCP（業務継続計画）への取り組みとして、職員間での意識統一を図るため、事業所内にて机上訓練を実施した。 引き続き定期的な研修は継続していくことで、知識と援助技術を高めていきたい。
事業運営総括	利用者や家族の意向を尊重しつつ、連携がしやすく柔軟な支援体制が図れる法人内の居宅サービス事業所の利用を提案し、利用につながったことで、利用者は増えている。 丁寧に寄り添う支援を心がけ、取り組んできた結果として、病院や在宅医療、居宅サービス事業所や以前担当していた家族からの紹介にてサービス介入するケースが増えている。引き続き個別性を大切に支援できるよう努めていきたい。 BCP（業務継続計画）について、地震など予測不能な災害もあることから職員間だけでの意識に留まらず、利用者や家族自身が自分事として考えていける支援に取り組んでいきたい。 担当件数は増加なく、推移している。業務の効率化について課題があり、7年度は改善に向け、取り組み、担当件数を増やしていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 2.18》

令和7年3月31日 現在

	人 数	割 合
要支援 1	22	12%
要支援 2	18	10%
予 防 計	40	22%
要介護 1	61	34%
要介護 2	30	17%
要介護 3	23	13%
要介護 4	12	7%
要介護 5	13	7%
介護 計	139	78%
合 計	179	100%

新規契約者数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
契約者数	2	8	0	4	5	3	8	4	7	1	5	4	51

利用者数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 1・2	38	40	39	37	37	36	38	39	40	40	39	40	463
プラン数	142	144	142	141	144	146	150	154	149	140	137	139	1,728
合 計	180	184	181	178	181	182	188	193	189	180	176	179	2,191

要介護認定調査数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
居 宅	1	5	1	1	2	2	3	2	2	3	5	3	30
特 養	2	0	0	1	4	0	0	0	0	4	3	2	16
合 計	3	5	1	2	6	2	3	2	2	7	8	5	46

職員間の内部研修の実施状況

(令和6年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人数	期 間	講師 (職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・服務心得・ハラスメント、高齢者虐待・人権意識、個人情報保護について	介護支援専門員	39名	4月1日	事務長
リスク管理・安全対策研修	リスク管理、火災訓練 (火災対応に関する設備の位置・図面) 初期消火の手順について	介護支援専門員	29名	5月27日	施設介護支援専門員
感染予防研修	食中毒の原因と対策について	介護支援専門員	29名	6月25日～6月28日	管理栄養士
感染予防研修	新型コロナウイルス対応について	介護支援専門員	24名	9月24日・26日	看護師
リスクマネジメント研修	危険予知訓練、リスクマネジメント (グループワーク) について	介護支援専門員	18名	10月21日・28日	ユニットリーダー
終末期ケア研修	看取りケアについて	介護支援専門員	21名	12月25日・26日	施設介護支援専門員
接遇研修	パワーハラスメントについて	介護支援専門員	名	資料配布 (3月)	ユニットリーダー
業務継続計画 (災害) 研修	災害時の判断、動き方、平常時の取り組みについて	介護支援専門員	5名	7月11日	介護支援専門員
ハラスメント研修 (居宅)	ハラスメント規程、マニュアル、初動対応などについて	介護支援専門員	5名	6月5日	介護支援専門員
業務継続計画 (感染) 研修	感染防護具の装着方法について	介護支援専門員	5名	11月26日	介護支援専門員
虐待予防研修	高齢者虐待防止法について	介護支援専門員	5名	12月24日	介護支援専門員

参加人数は併設事業所も含む。

法人内研修の実施状況

(令和6年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人数	期 間	講師 (職・氏名)
接遇強化研修	接遇マナーの基本、高齢者尊厳・法人理念と倫理を意識した接遇、報告・連絡・相談、感情マネジメントについて	全職種	5名	4月11日 4月24日 5月15日	株式会社ニッソーネット
災害研修	能登半島地震災害派遣 (1.5次避難所)、避難者の生活と支援の実情、課題について	全職種	5名	4月11日 4月24日 5月15日	生活相談員

職員の外部研修の受講状況 (令和6年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
第1回認知症事例検討会	認知症（事例検討）について	介護支援専門員	3名	5月28日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
第1回網干ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	介護予防支援の考え方について	介護支援専門員	1名	6月14日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第1回ケアマネジメント向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について（事例検討）	介護支援専門員	4名	6月27日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
姫路在宅医療・介護支援センター勉強会	地域の往診、訪問診療医について	介護支援専門員	1名	7月11日	1日間	姫路市広畑市民センター	口頭・復命
第1回認知症患者・医療センター研修会	認知症の新しい治療薬について	介護支援専門員	4名	7月12日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
第1回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	介護予防支援の考え方について	介護支援専門員	2名	7月23日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
介護保険事業別研修会	OHA T、口腔管理にかかる連携強化について	介護支援専門員	2名	8月21日	1日間	JA兵庫西飾磨支店	口頭・復命
B C P（業務継続計画）に関する研修	業務継続計画（災害）について	介護支援専門員	3名	9月15日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
自宅で行えるリハビリテーション研修	高次脳機能障害、自宅でのリハビリテーション、代償手段について	介護支援専門員	4名	9月9日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
主人介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践について	介護支援専門員	1名	8月21日から 9月10日	5日間	オンライン研修	口頭・復命
介護予防支援の指定対象の拡大に伴う研修	介護予防支援の指定対象の拡大にともなう事務取り扱い、新規プランなどについて	介護支援専門員	1名	9月12日	1日間	オンライン研修	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
多職種による事例検討会	認知症（事例検討）について	介護支援専門員	2名	9月24日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
第2回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	多問題を抱えた事例検討について	介護支援専門員	2名	9月30日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
大津地区合同研修	難病、BCP（業務継続計画）について	介護支援専門員	4名	10月10日	1日間	レーベン2階交流室	口頭・復命
認知症の新時代研修会	アルツハイマー病治療、レカネマブ・ドナネマブについて	介護支援専門員	3名	11月11日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
第3回網干ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	MCIを始め、認知症への理解について	介護支援専門員	1名	11月13日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第3回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	業務引継ぎ時のポイントについて	介護支援専門員	1名	11月19日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第3回ケアマネジメント向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出（事例検討）について	介護支援専門員	4名	12月18日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第3回認知症疾患・医療センター研修会	認知症ケア、症状と対応について	介護支援専門員	5名	1月10日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
姫路在宅医療・介護支援センター勉強会	人生の最終段階における対応について	介護支援専門員	1名	2月22日	1日間	オンライン研修	口頭・復命
第4回網干ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	インフォーマルサービスが求められる社会の現状について	介護支援専門員	1名	2月25日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第4回広畑ブロック包括的、継続的ケアマネジメント研修	高齢者に多い疾患の観察ポイントについて	介護支援専門員	1名	2月27日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
大津地区合同研修	サービス担当者会議について	介護支援専門員	4名	3月13日	1日間	レーベン2階交流室	口頭・復命

苦情対応

発生日	苦情内容	解決方法
令和6年 8月15日	「担当介護支援専門員の対応について」 家族より話の意図を汲んでももらえないことやサービスの調整ミスがあることを理由に併設短期入所生活介護の生活相談員を通じて、担当者の変更希望の申し出がある。	①管理者が家族に連絡し、詳細確認を行い、対応の不備について陳謝する。 ②希望通り、担当介護支援専門員の変更を行うと理解が得られた。 ③利用者の気持ちに寄り添った応対や話を聞く姿勢、内容の要約と意思確認、サービスの調整も含め、対応方法の振り返りを行った。
令和6年 11月24日	「担当介護支援専門員の対応について」 家族より病状の進行があり、相談しているけど、サービスの提案や情報提供をしてもらえないことや相談しても対応が遅い、必要と思ったタイミングと異なり、相談がしにくいことを理由に地域包括支援センターを通じて、担当者の変更希望の申し出がある。	①管理者が家族に連絡し、詳細確認を行い、対応の不備について陳謝する。 ②希望通り、担当介護支援専門員の変更を行うと理解が得られた。 ③利用者の病状に応じた相談支援やサービスの調整も含め、対応方法の振り返りを行った。

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和6年 4月3日	「訪問日時の失念」 前月の訪問時に次月の訪問日時の希望を聞き、メモに記載していたが、事務所に戻りカレンダー、スケジュール帳への記入を忘れる。訪問当日に家族から問い合わせがある。	①メモを取り、帰社後にすぐにカレンダーに記入する。 ②帰宅前に毎日の業務の振り返りを行い、回想することで思い出す機会を設ける。 ③訪問前日に確認し、利用者にも予定の変更がないか、確認する。 ④不安な場合は、他職員に訪問日時の言葉かけを依頼する。
令和6年 5月24日	「連絡調整のミス」 サービスの予定変更があり、調整を行ったが、変更について各事業所への報告を失念しており、当日に事業所から連絡を受け、気がついた。	①連絡を受けた時点でメモを録り、カレンダーや行事予定表に記載する。 ②利用票と提供票の変更作業を行い、関連居宅サービス業所に変更内容を伝え、提供票を再送信する。

※ 避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。